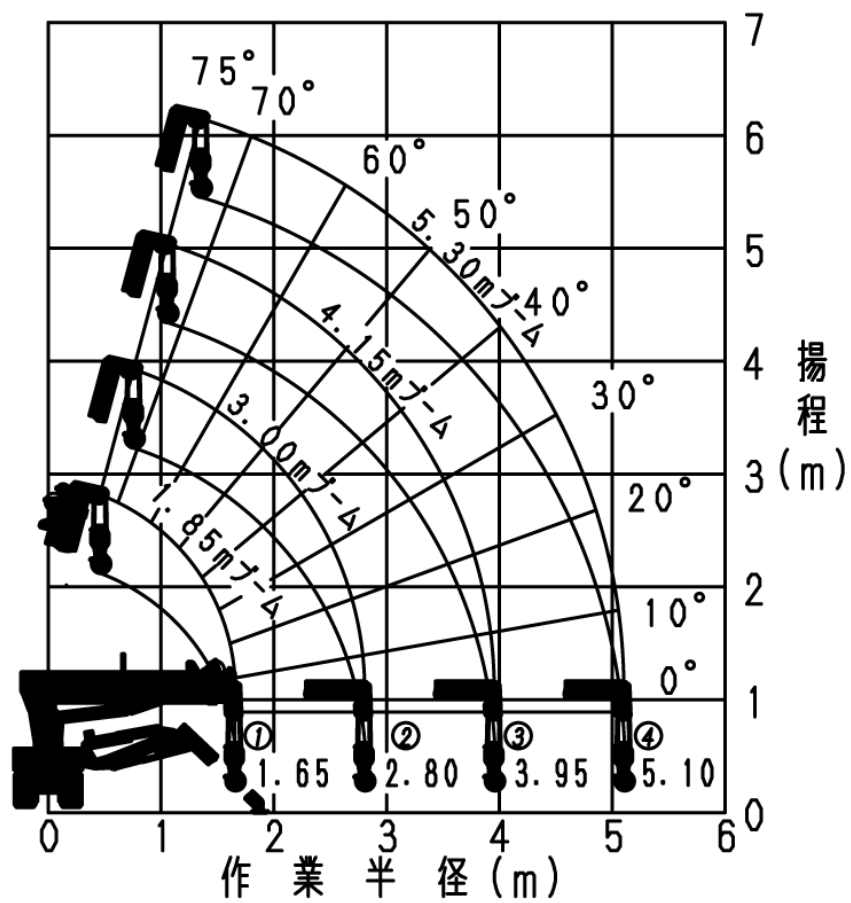


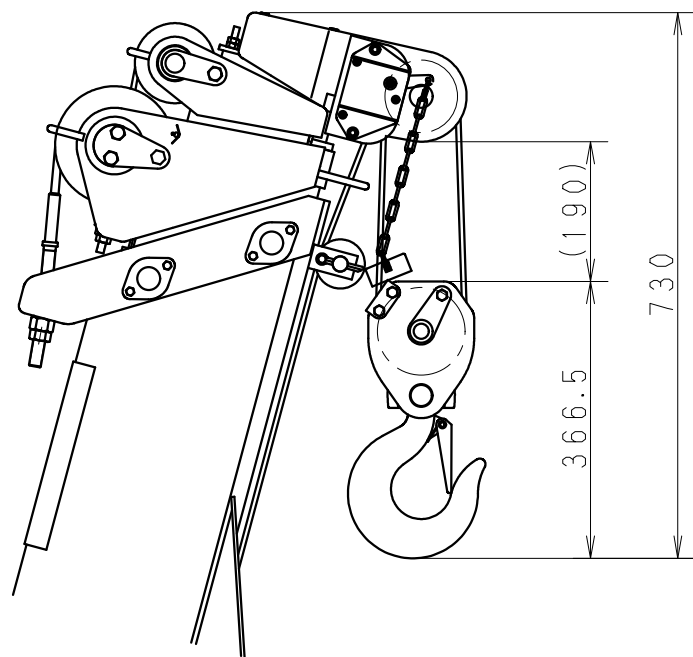
# MC054C 作業半径／揚程図



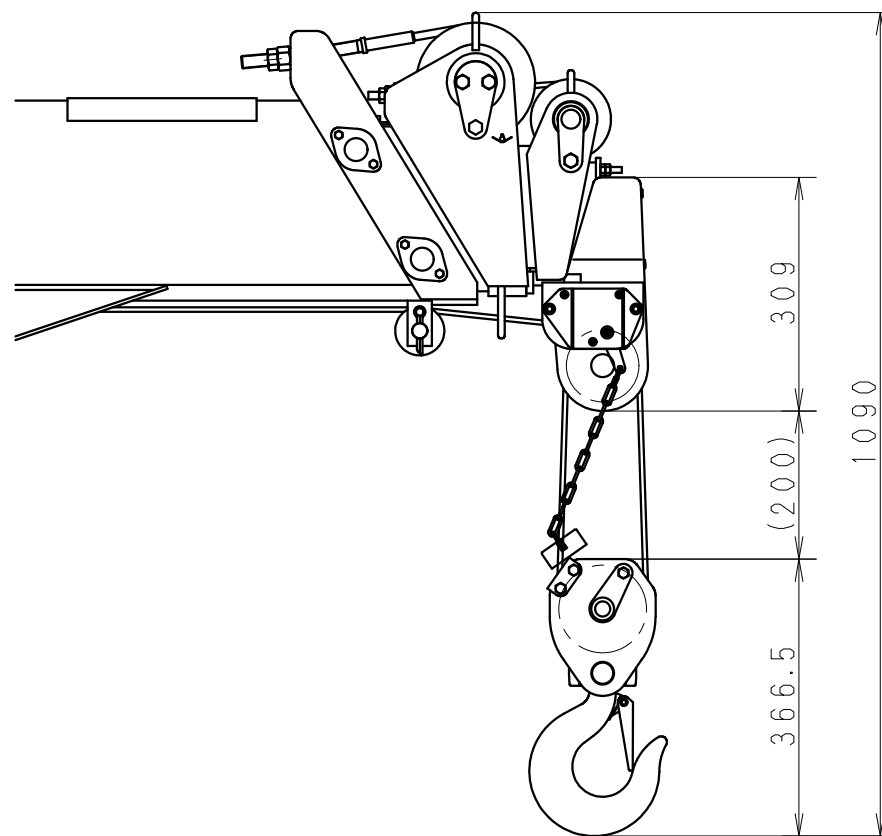
SAM29580

# MC054C フック先端寸法図

ブーム角度75°



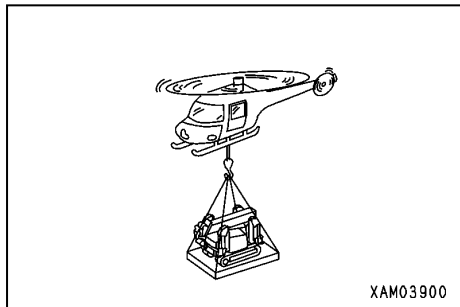
ブーム角度0°



## MC054C 機械の吊り上げ方法

### 警告

- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量(重量)に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・機械を吊り上げるときは、必ず「走行姿勢」にし、アウトリガのロータリ部にポジションピン(4本)を確実に差し込んでください。  
機械の重心位置は、機械の姿勢が「走行姿勢」状態で決められています。また、「走行姿勢」状態にするときは、特にフックブロックを掛けるロープの張りを強くし、ブーム起伏シリンダが伸び難くなるようにしてください。
- ・機械を長時間吊り続けると、ブーム起伏シリンダが伸びて重心位置が変わり、機械のバランスをくずす危険があります。  
吊り続ける時間は、10分間程度にしてください。
- ・機械を長時間(10分間以上)吊り続けるときやヘリコプターを使用して運搬するときは、右図のような運搬用具を使用し、安全に作業してください。
- ・以下の手順で示す方法以外で、機械を吊り上げてはいけません。  
機械のバランスをくずす危険があります。



### アドバイス

- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、つぎの資格を取得した人でなければいけません。
- ・小型移動式クレーン運転技能講習修了証  
(労働安全衛生法第61条、同施行令第20条、同安衛則第41条、クレーン則第68条)
- ・玉掛技能講習修了証  
(労働安全衛生法第61条、同施行令第20条、同安衛則第41条、クレーン則第221条)
- ・機械の質量(重量)は、機械に貼り付けてある銘板を参照してください。
- ・諸元値は標準仕様であり、実装時のアタッチメント、オプションにより吊り上げ方法が異なります。その場合は、当社または当社販売サービス店にお問い合わせください。

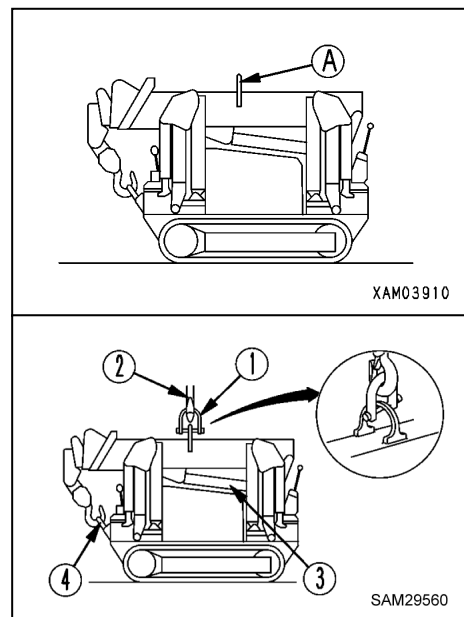
機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. 機械を右図の「走行姿勢」にしてください。
2. ブーム上の(A)部にフック(2)を掛けるか、吊り具(1)を使用してフック(2)を掛けてください。

#### 補足説明

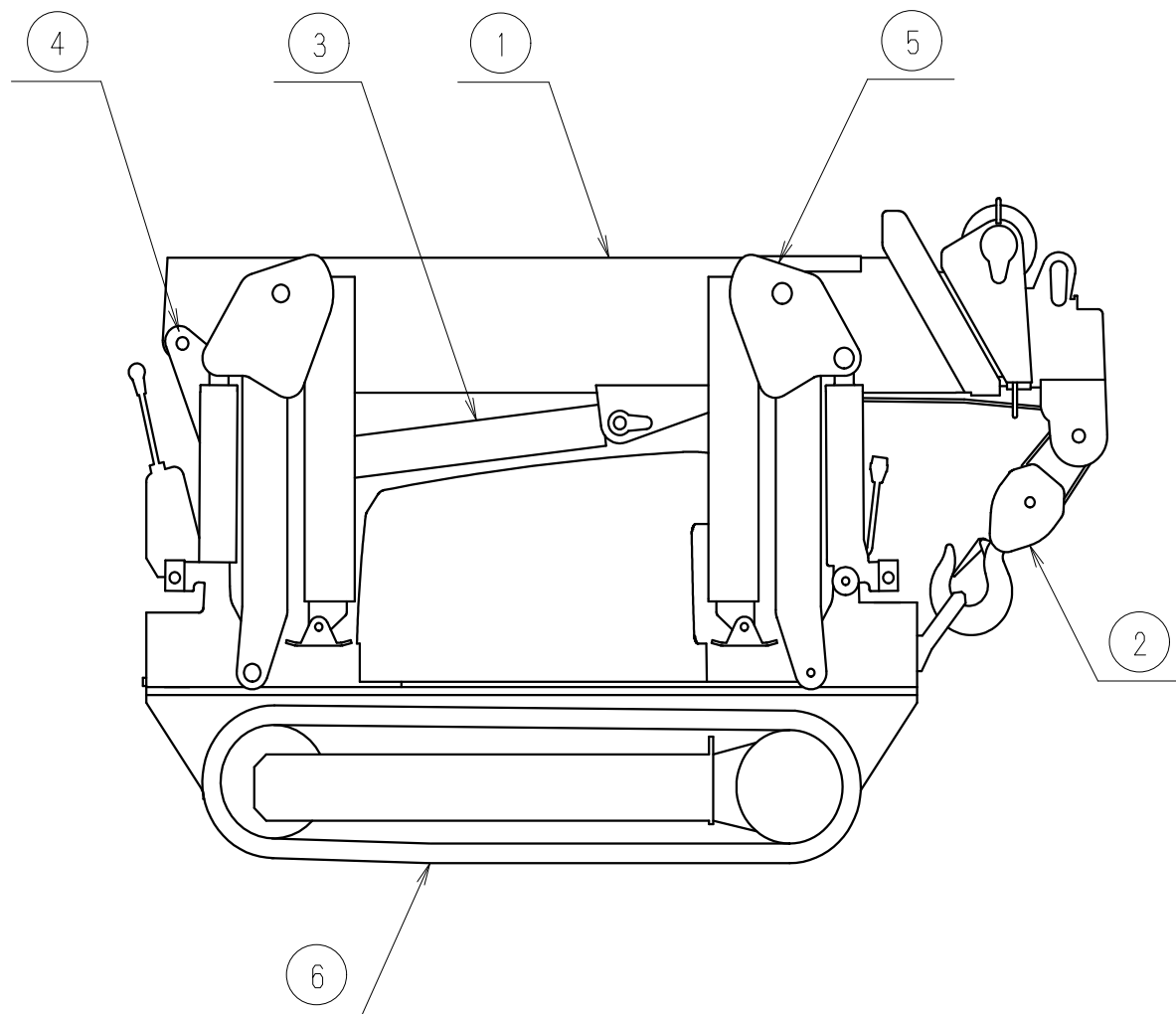
ブーム上の(A)部の位置が機械の重心位置になります。

3. 機械が地面を離れた直後(地切り)一旦停止し、機械が安定してからゆっくりと吊り上げてください。
4. 吊り上げた時、起伏シリンダ(3)ヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか、フック掛け(4)に緩みがないか確認してください。



# MC054C 分解重量

本体重量：1050kg



	部品名	重量	備考
①	ブームAss'y	190kg	伸縮シリンダ含む
②	フックブロック	18kg	4本掛けフック
③	起伏シリンダ	18kg	
④	ポスト+ウインチ	60kg	ウインチワイヤ含む
⑤	アウトリガ×4	60kg×4	ロータリ、アウトリガシリンダ含む
⑥	ゴムクローラ×2	27kg×2	
-	上記以外のその他重量	470kg	燃料、作動油含む